

茨城大学公開特許

<p>発明の名称</p>	<p>含フッ素n共役系環状高分子の製造方法と該製造方法によって得られる含フッ素n共役系環状高分子を用いた発光素子</p>
<p>出願番号 公開番号 登録番号</p>	<p>特願2017-074148 (2017.4.4) 特開2018-177842 (2018.11.15) 特許第6782977号 (2020.10.23)</p>
<p>学内発明者</p>	<p>福元 博基 / 稲野邊 風馬 / 吾郷 友宏 / 久保田 俊夫</p>
<p>技術分野</p>	<p>ナノテクノロジー・材料・計測</p>
<p>発明の概要</p>	<p>【課題】 n電子共役性を十分に発現しながら、有機溶媒に対する溶解性が高く成膜性が良好で、且つ、安定性と耐久性に優れる含フッ素n共役系環状高分子の製造方法と該製造方法によって得られる含フッ素n共役系環状高分子及びそれを用いた発光素子を提供する。</p> <p>【解決手段】 本発明は、遷移金属触媒を用いるホモ又はクロスカップリング反応によって含フッ素n共役系環状高分子前駆体モノマの単独重合又は共重合を行って製造される含フッ素n共役系環状高分子の製造方法であって、前記含フッ素n共役系環状高分子前駆体モノマが、二重結合の一つ及びフッ素元素の一つ以上を1分子中に有する単環状又は鎖状の化合物（A）と、n共役系の環状化合物であって、核置換基としてオルト位に2個又は4個の水酸基及びパラ位に臭素原子、塩素原子又はヨウ素原子を有する化合物（B）と、の反応によって合成されることを特徴とする。</p>
<p>説明図</p>	